



「食品ロス」を知っていますか？ フードドライブと講演会を行います



本来食べられたはずの食品廃棄物「食品ロス」は、国内で年間約621万トン（農林水産省及び環境省平成26年度推計）も発生しています。

平成27年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」において位置付けられるなど、国際的な関心も高まっている食品ロスについて、市民の皆様により広く知っていただくための取組を実施します。

1 フードドライブの実施

各家庭で余っている食品を集め、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンを通じて必要とする人々へ届けます。

- (1) 日 時 3月4日(日)午前10時～午後1時 雨天の場合、11日(日)に延期します。
- (2) 場 所 橋本台リサイクルスクエア（同日開催のフリーマーケット会場内）
- (3) 回収品目 缶詰、レトルト・インスタント食品、お茶・コーヒー等の嗜好品、調味料
- (4) 回収条件
 - ア 未開封で包装や外装が破損していないもの
 - イ 賞味期限が明記されており、それが1ヶ月以上のもの
 - ウ 生鮮食品、瓶詰め食品は不可
 - エ 保存方法が冷蔵若しくは冷凍ではないもの
- (5) その他 食品を持参された際に回収条件食品の状態を確認します。不適合な場合はお持ち帰りいただくことがあります。
本市が主体となるフードドライブ活動は初の取組です。



2 食品ロス削減を考える講演会の開催

『潤水都市の食品ロス削減～「地元産」をPRし食材に愛着を～』と題して開催する本講演会では、食べ物を大切に作る心を育み、みんなで食品ロス削減を考えます。

- (1) 日 時 平成30年3月10日(土)
午後1時30分～午後3時30分
- (2) 場 所 相模原市民会館第1大会議室
- (3) 講 師 東京家政学院大学教授 上村 協子 氏
環境省リサイクル推進室 薄木 航 氏
- (4) 内 容
 - ア 食品ロスをとるまく国内外の状況
 - イ 各自治体の取り組み
 - ウ 相模原市の地元産食材について
- (5) 定 員 120名(先着)



上村協子氏
主な活動

市消費生活審議会会長
消費者庁食品ロス削減に関する意見交換会座長（平成25年度）

問合せ先
資源循環推進課（直通電話 042-769-8334）
対応責任者 課長 中野繁
担当 小鮎、板倉

フリーマーケット 開催のお知らせ

レモンちゃん
空き缶くんも
登場します!

3/4(日)

雨天時は
3/11(日)に延期

10:00~13:00

橋本台 リサイクルスクエア

相模原市緑区下九沢
2084-3

北清掃工場の
道向かい

相模原市ごみ減量化資源化啓発キャラクター
「レモンちゃん」

主催：相模原市美化運動推進協議会 / 相模原市

もう使わないけど...
捨てるにはもったいない!
各ご家庭で不要になった
衣類やおもちゃなどが中心の
フリーマーケットを開催!
みんな遊びにきてね!

同時開催

おもちゃの病院

おもちゃドクターが壊れたおもちゃを修理!
直したいおもちゃを持ってきてね!
基本無料、受付は12時30分まで

クイズで知ろう! 食品ロス

食品ロスの削減についてクイズで学ぼう!
費用無料、どなたでも参加できます。

フードドライブ

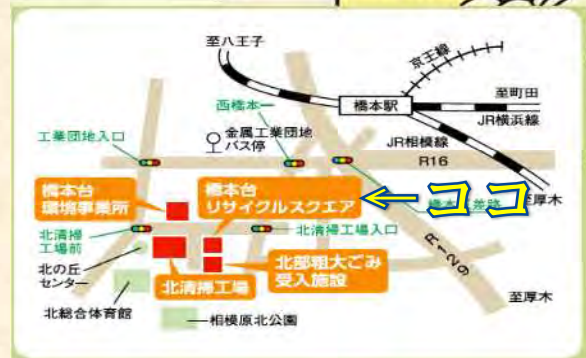
家庭で余っている食品を回収し、NPO法人セカンドハーベストジャパンに寄付します。

回収品目：未開封であり、賞味期限が1ヶ月以上先のもの

例) 缶詰、レトルト食品、お茶等の嗜好品、調味料

お持ちいただいた食品が不適合な場合はお持ち帰りいただくこともございますので、ご了承ください。

駐車場には限りがあります!なるべく
公共交通機関等でお越し下さい。



詳しい内容は資源循環
推進課にお問い合わせ
又は、市ホームページ
でご確認ください。

潤水都市の 食品ロス 削減



「地元産」をPRし
食材に愛着を

©相模原市



講師

東京家政学院大学
教授
上村 協子 氏

環境省
リサイクル推進室
薄木 航 氏

まだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」
世界の問題とは…？ 私たちにできることは…？
国内外の状況や全国の取り組み、暮らしの中でできる実例を
専門家からお話しいたします。ぜひご参加ください。

平成 30 年

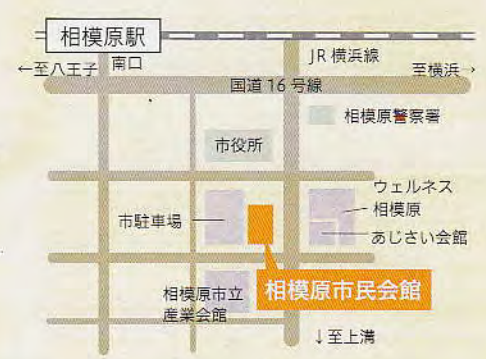
3月10日 土 参加無料

13時30分～15時30分 (13時開場)

場 所：相模原市民会館 第一大会議室

定 員：120名

主 催：相模原市



お申し込み 平成30年2月20日(火)～3月2日(金) 相模原市コールセンター 午前8時～午後9時 ☎042-770-7777